

整理番号	HT25216	分野	医歯薬、化学	(キーワード)分離、分析、医薬品
------	---------	----	--------	------------------

徳島文理大学

なぜ薬を分析してみよう！

クロマトグラフィーと質量分析ってなんだろう？

先生(代表者)	通 元夫(とおり もとお) 薬学部・教授			
自己紹介	有機化学全般にわたる研究を行っています。生理活性のある有機化合物の全合成や、絶対配置を調べる仕事、種々の試薬を用いる新規合成法の開発、また中国奥地のキク科植物の成分研究から、植物進化の様子を探ったりと、多岐にわたる仕事を展開しています。有機化合物の多様な構造や機能に興味を持って研究を進めてきました。			
開催日時・主な募集対象	平成25年8月4日(日)	(対象)	高校生	(人数) 30名
集合場所・時間	徳島文理大学薬学部 21号館1階ラウンジ		(集合時間)	9:30~10:00
開催会場(集合場所)	徳島文理大学 薬学部 住所: 〒770-8514 徳島市山城町西浜傍 180 アクセスマップ: http://www.bunri-u.ac.jp/about/access/tokushima.html			
内 容				
<p>市販のかぜ薬には、熱を下げたり、頭痛をやわらげる作用などいくつかの働きをする医薬品が入っています。この医薬品を1つ1つ分けてみて、目で見て確かめてみましょう。調べる方法は薄層クロマトグラフィー、ガスクロマトグラフィー、そして質量分析計です。これらの装置がどんな原理で動いているのか、なぜそうした成分が入っていることが分かるのか、について学んでみましょう。そしてこのような方法が世の中でどのように応用されているのかについても、調べてみましょう。</p>				
				
薄層クロマトグラフィーの実験			ガスクロマトグラフィーの実験	
スケジュール				持 ち 物
9:30~10:00	受付 薬学部 21号館 1階玄関ラウンジ			筆記用具等
10:00~10:30	開会挨拶、学部長からの歓迎のことば 日程の説明と科研費の内容紹介			

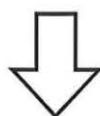
10:30~11:00	講義「分離の原理と質量分析」 講師：通 元夫	特記事項 学部生 10 名がお世話します。ディスプレイ用白衣配布、保護メガネ貸与、分子模型配布(お土産として差し上げます)します。昼食はこちらで準備します。
11:00~12:00	実験 1 「かぜ薬を薄層クロマトグラフィーで分析する」	
12:00~13:00	昼食(参加者と教員・学生との懇親)	
13:00~14:30	実験 2 「かぜ薬をガスクロマトグラフィーで分析する」	
14:30~15:45	実験 3 「質量分析計を使って調べる。 分子模型で医薬品の構造を組立ててみよう」	
15:45~16:20	クッキータイム 実験の結果を先生と話し合う, アンケート記入	
16:20~16:30	修了式「未来博士号」授与	
16:30~16:40	参加者全員の記念撮影、解散	

《お問い合わせ・お申し込み先》

所属・氏名：	徳島文理大学薬学部・通 元夫(とおり もとお)
住所：	〒770-8514 徳島市山城町西浜傍示 180
TEL 番号：	088-602-8462
FAX 番号：	088-655-3051
E-mail：	tori@ph.bunri-u.ac.jp
申込締切日：	平成25年7月26日(金)

《プログラムのテーマと関係する科研費》

研究代表者	研究期間	研究種目	課題番号	研究課題名
通 元夫	H22-25	基盤研究(C)	22590028	GPI 阻害活性を有するセスタテルペン YW3699 のキラル合成と絶対配置
通 元夫	H13-14	基盤研究(C)	13672245	ヨウ化サマリウムによる還元的閉環反応を用いる二環性化合物の一般的合成法



★この科研費について、さらに詳しく知りたい方は、下記をクリック！

<http://kaken.nii.ac.jp/>

※国立情報学研究所の科研費データベースへリンクします。